労務安全書類作成サービス
登録企業60万社突破
建設DXへ機能拡充も
MCデータプラス

MCデータプラス（東京都渋谷区、飯田正生社長）による建設業向けクラウドサービス「建設サイト・シリーズ」の労務安全書類作成サービス「グリーンサイト」の利用が伸びている。登録企業数が60万社、登録作業員数も160万人を突破。地場ゼネコンでの新規利用も増えている。建設キャリアアップシステム（CCUS）との連携も増加傾向にある。今夏に機能拡充を予定しており、建設DX（デジタルトランスフォーメーション）を後押しする。

同シリーズは、安全書類作成サービス「グリーンサイト」や作業間連絡調整サービス「ワークサイト」などで構成する。3月31日時点の状況を見ると、グリーンサイトの元請企業数が311社になった。既に利用しているスーパーゼネコンや準大手・中堅ゼネコンに加えて、地場建設会社の利用が増える傾向にある。元請に合わせて協力会社が利用しており、全体の登録企業数は60万0801社、登録作業員数は161万8033人に増加。契約企業数も7万1663社となっている。利用現場数は、2万現場以上で推移しており、昨年同時期よりも約2000現場増えたという。

CCUSとの連携では、連携対象事業者が前年同時期に比べて約4万社増加して5万2654社に、技能者数が約20・5万人増加して28万0118人になっている。ワンストップで登録できる利便性が、増加につながっていると同社は見ている。

機能拡充の面では、今夏ころから「ワークサイト」に現場配置図機能を搭載する予定。飯田社長は「コロナ禍で現場管理をリモート対応したいというニーズが増えている。データを使って効率化し、現場のストレスを解消できるような建設DXに貢献したい」と話している。

グリーンサイトの利用状況